

## 2011年度版「環境・社会報告書 Sustainability Report - 」の発行

今般、当社は「環境・社会報告書 Sustainability Report - 2011」を発行致しました。「アニュアルレポート2011」(8月末発行済)と併せて、「環境・社会・経済」をカバーする“CSR報告書”としてご覧ください。

本年度版の主な特徴と内容は、下記の通りです。

1. 手に取って頂いた皆様に興味を持って頂くために、前半は判りやすい読み物を中心とした「特集」で構成し、後半を「環境・社会性報告」として編集しました。
  - (1) 巻頭コラムとして、宇宙の誕生から現代、更には未来に亘る迄、「地球は鉄の惑星であり、鉄は文明の要」であることを、豊富な事例を用いて紹介しました。【P4～5】
  - (2) 「Fe - Future environment @ 鉄がつくる地球の未来」と題して、読み物特集を構成し、身の回り(人、家、車、街、日本、リサイクル)から世界、宇宙に至るまで、当社グループのエコプロセス、エコプロダクツ、エコソリューションが、あらゆるところで役立っていることを数多く紹介しました。【P6～17】
  - (3) 「東日本大震災の当社グループへの影響と復旧・復興への取り組み」について、電力供給、夏季節電対策、釜石での復旧・復興(含む新日鉄エンジニアリング、新日鐵化学)の取り組みを紹介しました。【P20～21】
2. 基本報告を「マネジメント体制」、「環境報告」、「社会性報告」の3部構成としました
  - (1) 「マネジメント体制」では、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスについて報告しました。
  - (2) 「環境報告」では、地球温暖化対策、循環型社会の構築、環境リスクマネジメント、環境マネジメントシステム、環境・エネルギーソリューションの推進について報告しました。

新日鉄グループとして2010年度のエネルギー消費量は対1990年度比 6.0%削減、CO<sub>2</sub>排出量は同 6.1%削減の70.3百万トンとなりました(昨年同様、関連電炉会社等5社を含むグループとしての報告)

2010年度の環境保全コストは、大気汚染防止対策の大型投資が一段落した結果、設備投資額合計は366億円(設備総投資額の約8%)でしたが、1973年以来、2010年で環境対策累計投資額は6000億円を超えました。また、経費は607億円で、設備投資・経費共にハイレベルを継続しています。

- (3) 「社会性報告」のなかで、様々なステークホルダー(利害関係者)に対する活動の記載を充実させ今後の方針を記載しました。

地域社会とともに・・・地域との環境保全協定、地域の景観に溶け込む「郷土の森づくり」

お客様・調達先の皆様とともに・・・品質保証・品質管理、サプライチェーンマネジメント

株主・投資家の皆様とともに・・・個人株主説明会・製鉄所見学会、住友金属工業との経営統合検討開始、情報発信の充実、株主構成、コラム; IRグループからのメッセージ

未来を担う子どもたち・学生とともに・・・たたら製鉄実験、環境教育、インターンシップ、子供向けWEBサイト

従業員とともに・・・人材育成・人事処遇、次世代支援やシニア雇用制度、安全推進組織の強化など

社外団体・NGOとともに、さまざまなコミュニケーション活動、社外からの表彰、など

\*発行予定部数は2万1千部。当社のホームページを通じて公開。英語版は11月下旬を目処に完成予定。

\*当社ホームページ(「環境経営」) <http://www.nsc.co.jp/eco/report/index.html>

(本件に関する問い合わせ先) 新日本製鐵株式会社

環境部 能勢(のせ) TEL 080-5886-7283

篠上(しのがみ) TEL 080-5886-7284